

## 障がいのある人への対応

二見中学校 三年

岡 おか 恵人 けいと

障がいのある人にやさしい社会とは何だろうか？何でもやってあげることがやさしさなのか？そもそもやってあげるといふ言い方は否定的なのではないか？と考えてしまうことがある。

僕のお母さんは障害者支援施設で生活支援員をしていたことがある。その時にボランティアに来た人や実習生の人施設にいる人が好きなことが出来ない決めつけたり、援助する時に「私がやってあげましょうか」といふ言い方の人が多かったそう。もちろん話しかけ方がわからないだろうから何かをやってあげることに関わるきっかけを作ったのかもしれないが中には不快に思う人もいたようだ。

なぜ不快だったんだろう？話を聞くうちにそこでは個々に部屋があり、テレビを見たり、オヤツを食べたり、中にはパソコンをしたりと自由に過ごされている。テレビをつけたリモコンが自分では押せないが何時にはこの番組がみた

いとか、ドラマを楽しみにしている。おやつが自分では出せなかつたり開けれなかつたり食べれなくても自分で食べた  
いおやつを選ぶことや、体に麻痺があつても缶コーヒーを上  
手に足で出してきて「これを飲む」と身振り手振りで伝えら  
れる。パソコンの前に行くまでの車いすへの移乗は自分で  
きなくてもパソコンの前に行き電源を入れ、必要な道具をつ  
ければパソコンを使ってインターネットをしたり、動画を見  
たり、詩を作ることが出来る。

これを聞いて障がいがあつても個人の意思があつて、僕た  
ちと変わらない日常があることを知った。自分も出来ること  
を出来ないと決めつけられるのは嫌だし見たくないテレビ  
の番組をつけられて「やってあげた」なんて言われたら「と  
んだ自己満足だな」と腹が立つ。このことに気がついて話を  
聞こうと思つたりその人のことを知ろうと思うと距離が近  
づきスムーズではなくても何が足りないのかな？どうすれ  
ばいいのかな？ということがわかるようになるそうだ。間違  
つていて「違うわ」と言われることも楽しい会話になるそう  
だ。

僕にも町で車いすの人や体に障がいのある人を見ると偏見で少し距離を置いてしまう。でも僕にも出来ないことや手伝ってもらうことが多くある。その時にさりげなく友だちや家族など周りの人に助けてもらっているように、エレベーターのボタンが押せないところに遭遇すると、「何階ですか？」と聞きボタンを押せばいい。段差があつて車いすが引つかかっているれば押していいか聞いて力を貸せばいい。荷物が落ちれば「落ちましたよ」と拾えばいい。

今回障がいのある人にとってのやさしい社会について考えてみて、「立派なことをしよう」や、「何かをやってあげないと」と気負わずに自分のできるところに目を向け、気が付き、さりげなく手を貸せる人になりたいと思った。やってもらって嬉しかったら真似をして広げれば障がいの有無は関係なく、人にやさしく自分も人も大事に出来る社会の種がまける。

やさしい種をまける人になりたいです。